

[標準様式例7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	首都圏広域地方計画フォローアップ等検討業務
業 務 概 要	本業務は、首都圏広域地方計画（以下「広域計画」という。）の効果的推進を図るため、広域計画の各プロジェクトに関する進捗状況をモニタリングするとともに課題への対応等について検討を行い、フォローアップ資料（案）のとりまとめを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 森北 佳昭 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成25年6月20日
契 約 業 者 名	(一財)計量計画研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都新宿区市谷本村町2-9
契 約 金 額	¥9,975,000円(税込み)
予 定 価 格	¥9,975,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、当該業務の実施方針と特定テーマに関する技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザルに準じた方式により選定を行った。 一般財団法人計量計画研究所は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するものにふさわしい業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成25年6月21日
履 行 期 間 (至)	平成26年2月28日
備 考	会計法29条の3第4号 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。